

精神科遠隔医療分科会・SIG Telepsychiatry

分科会長 岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

1. 分科会設立の目的

診療報酬獲得を含め、日本に広く Telepsychiatry の導入を行うために、研究活動の推進、さらに社会実装を目指した活動を行う。

2. 分科会メンバー数 15 人

3. 令和 4（2022）年度の活動の実績と成果

COVID-19 感染拡大を受け、適切なオンライン診療の拡大が急務となる中で、令和 4 年度診療報酬改定において、精神科領域での適用拡大・保険点数の拡張が行われなかったことを踏まえ、日本精神神経学会に設置されたオンライン精神科診療検討委員会と連携し、精神科オンライン診療の普及に向けた意見の取りまとめなどを行なった。また、学術活動の面でも、当分科会メンバーが参加した精神科遠隔医療の有効性に関するシステマティックレビュー・メタアナリシスに関する研究が行われ、国内外の学術集会以て発表された 1-3)。また、岸本が代表研究者となっている、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の「令和 2 年度障害者対策総合研究開発事業」に採択された「対面診療に比したオンライン診療の非劣勢試験: COVID-19 によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証」研究が目標症例数のリクルートを達成し、2023 年 2 月現在、解析中であるなど 4)、国内でのエビデンス構築にも務めている。

1) Telepsychiatry versus face-to-face treatment: a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. Mari Iizuka, et al. ISCTM(The International Society for CNS Clinical Trials and Methodology) 2022 Autumn Conference

2) Telepsychiatry vs. face-to-face treatment: a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. Shota Furukawa, et al. 35th European College of Neuropsychopharmacology (ECNP) Congress

3) 対面診療に対する遠隔精神医療の治療効果の比較：ランダム化比較試験に基づくシステマティックレビューとメタアナリシス. 木下翔太郎他. 第 26 回日本遠隔医療学会学術大会 2022 年 10 月 29 日

4) <https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jrct1030210037>

4. 令和 5（2023）年度の活動の目標と計画

現在、令和 6 年度診療報酬改定に向けて、厚生労働省令和 4 年度障害者総合福祉推進事業「情報通信機器を用いた精神療法を安全・適切に実施するための指針の策定に関する検討」において、関連する議論が行われている状況にある。当分科会では、こうした動向もにらみつつ、引き続き、日本精神神経学会に設置されたオンライン精神科診療検討委員会と連携しながら、精神科領域の意見集約を行い、種々の臨床場面でオンライン診療が可能になるための活動を行う。加えて、オンライン診療への信頼を確保していくため、適切な運用の在り方についての議論や、国内での臨床研究を通して精神科遠隔医療が対面診療と同等の有効性を有する点についての実証を進めるなどの取組を行なっていく。具体的には、上述の AMED で採択された研究開発課題についての成果発表や、研究の中で見えた課題の共有などを通して、より良い遠隔精神科医療の普及・発展に努めたいと考えている。

分科会長連絡先：taishiro-k@mti.biglobe.ne.jp